

第55回
例会

無名塾
左の腕

原作/ 松本清張
演出/ 仲代達矢・岡山 矢
出演/ 仲代達矢、円地晶子、進藤健太郎、他

江戸深川の料理屋松葉屋に新しく雇われることになった老人卯吉とその娘おあきの物語。板場の銀次とおあきには恋心が生まれます。そこに稲葉の麻吉という目明しが現れ、卯吉の左の腕に巻いている白い布に目を留めます。その白い布の下には前科者の刻印である白墨が...

3月30日(水)
18:30 開演
(18:00 開場)

知多市勤労文化会館
(つつじホール)



第56回
例会

文学座
一銭陶貨～七億分の一の奇跡～

作/ 佃典彦
演出/ 松本祐子
出演/ 鶴澤秀行、中村彰男、高橋ひろし、上川路啓志、奥田一平、奥山美代子、平体まひろ、他

第二次世界大戦末期、金属不足に対応する窮余の策として「せともの」で製造された「一銭陶貨」。お上にさんざん振り回され、結局世に出ることのなかった幻の通過。その歴史的事実を背景に、瀬戸での陶芸の道を究めた一家のエピソード。

5月24日(火)
18:30 開演
(18:00 開場)

知多市勤労文化会館
(つつじホール)



第57回
例会

劇団民藝
新・正午浅草-荷風小伝

作・演出/ 吉永二郎
演出補/ 中島裕一郎
出演/ 水谷貞雄、伊藤孝雄、みやざこ夏穂、白石珠江、飯野遠、他

明治・大正・昭和の三代にわたって文豪として名をはせた永井荷風。戦後、千葉県市川市に移り住み、その自然と風情を愛します。家族をもたず、独り暮らしの寂しさを日記に記した荷風。個人の自由を求め、自分らしく生きた半生をユーモラスに描きます。

7月26日(火)
18:30 開演
(18:00 開場)

知多市勤労文化会館
(つつじホール)



ちた半島演劇鑑賞会

2022年3月～2022年1月

暮らしの中に演劇を潤いを

第58回
例会

トム・プロジェクト
風を打つ

作・演出/ ふたくちつよし。
出演/ 音無美紀子、太川陽介、高橋洋介、いわいのふ健、他

あの忌まわしい事件から時を経て蘇った不知火海。かつてその美しい海で涼を営み、多くの網子を抱える網元であった杉本家は、その集落で初めて水俣患者が出た家でもあった。ある網元の患者家族の葛藤を軸に家族の綻びと再生を描く。

9月19日(月・祝)

開演時間未定

知多市勤労文化会館
(つつじホール)



第59回
例会

俳優座プロデュース
音楽劇人形の家

作/ ヘンリック・イプセン 訳/ 原千代海
演出/ 西川信 作曲・音楽/上田亨
出演/ 土井裕子、大場泰正、古坂るみ子、進藤忠

イプセンは社会劇の創始者と言われ、特に1879年に発表された『人形の家』は新しい女性像を世に示し、近代劇の出発点となった作品と評されている。今回はこの名作を音楽劇にし、男と女、夫と妻の愛の物語を際立たせてた。

11月27日(日)

開演時間未定

知多市勤労文化会館
(つつじホール)



第60回
例会

劇団 文化座
炎の人

作/ 三好十郎
演出/ 鶴山 仁
出演/ 藤原章寛、白幡大介、青木和宣、米山実、津田二郎、沖永正志、佐々木愛、原田琴音

未熟で孤独なゴッホ。しかし、弟テオドールは生涯をかけて兄の才能と生活を支え、ライバルのゴーギャンも芸術家として強い自信と反逆精神で彼に向き合う...。登場人物への愛情を注いだ三好十郎の魂を今再び

2022年
1月未定

